

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- 空き家を活用するための助成制度
- 文化センターTOM周辺の活性化に向けて

今月の表紙

流水浮かぶ三里浜の日の出
皆さまにとって光り輝く年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

刈田 智之



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和7年が幕を開けました佳き日に、皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に石川県能登半島で大規模な地震が発生し、全国が驚愕の念を抱きました。9月には、さらに追い打ちをかけるかのような大雨が被災地を襲い、河川が氾濫するなど甚大な被害をもたらしました。ここに、罹災された皆さまに對しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

近年、全国各地で地震あるいは猛暑やゲリラ豪雨などの異常気象による被害が多発しております。自然災

害は、私たちの生活や地域経済にも影響を及ぼすものであり、本町におきましても防災対策の強化が急務であります。今後も地域の皆さまにご協力いただきながら、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

政治の分野では、10月に石破内閣が発足し、新たなリーダーが国の方針を導くこととなりました。これにともない、私たち地域住民にとりましても、政策の変化が生活に影響を及ぼすことが予想されますが、地方自治体への支援や地域振興策がどのように進められるのかを注視しながら、適切な対応を進めてまいります。

また、アメリカでは、トランプ大統領が再選を果たすなど、国際関係にも変化がありました。これらの政治的な動きは、わが国の経済や安全保障にも影響を与えるものであり、引き続き関心を寄せてまいりたいと考えております。

一方、スポーツ界では、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、多くの日本人選手が世界にその名を轟かせました。女子やり投げで金メダルを獲得した北口榛花選手をはじめ、道内出身選手が活躍されたことは、私たち道民の誇りであり大きな励みとなりました。

選手の皆さんの素晴らしいパフォーマンスは、日本のスポーツ界に新たな風を吹き込み、その活躍を通じて、若い世代が夢や希望を持ち、スポー

ツの持つ力を再認識いたしました。

さて、私の任期は最終年を迎えましたが、これまでの取り組みを振り返りつつ、個人の心身と社会がともに良い状態である「ウェルビーイング」の高いまちづくりを目指し、地域の皆さまが心豊かに暮らせる環境づくりを最優先の課題と捉え、インフラ施設の整備や行政のデジタル化の推進、子ども施策の充実、災害対策など、行政サービスの向上が図られるようさまざまな施策に取り組んでまいります。

そのためには、町民の皆さまとの対話を重視し、地域のニーズや要望を把握し、施策に反映させることが重要であります。皆さまの声が湧別町の未来を形作る力となります。

『町長とのふれあいトーク』や『町長いつでもカフエ』なども開催しておりますので、ぜひ、積極的なご意見をお寄せいただきたいと思います。

最後に、本年の干支である巳年は、「成長」や「変化」を象徴する年とされており、この年を通じて、湧別町がさらなる成長を遂げ、地域の魅力が一層引き立つことを期待するとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます

湧別町

町長 刈田 智之
副町長 因 洋史

湧別町教育委員会
教育長 阿部 勉

湧別町農業委員会
会長 吉村 智之

湧別町選挙管理委員会
委員長 森谷 重俊

湧別町監査委員
代表 水野 豊

湧別町消防団
団長 高橋 直司

迎春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

村田 一志



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただいていますこと、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

新年を迎え、議会としての責任の重さをあらためて感じるとともに、本町のさらなる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにいたしましたのであります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の対策がようやく落ち着き、町内のイベントや、観光客なども以

前の活気を取り戻しつつあることを実感できる1年となりました。

屯田七夕まつり、盆踊り、産業まつりなどは活気にあふれ、チューリップ公園など観光施設には多くの来場をいただくなど、皆さまの笑顔を目にするたびに安堵するとともに、開催する関係者の皆さまの努力に対し、あらためて感謝申し上げます。

昨年は国外においては紛争が止まらず、ロシアとウクライナの紛争は

まだ終結が見いだせません。また、国内においては、正月から大きな地震（能登半島地震）による災害、日航機の事故など、衝撃的な事案が発生し、多くの方々が大変な思いをされることとなりました。

そのような中で始まった1年ではありますが、真夏の過酷な状況の中でのパリオリンピック・パラリンピックでの日本選手団の活躍、また毎日活躍を楽しませてくれた大谷翔平選手の間年 MVP 受賞など、今年も多くの選手が日本中を盛り上げ、元気をくれました。

本町においても、スポーツ、吹奏楽、ピアノなどさまざまな分野で多くの子どもたちが、全道大会などに出場されました。

本年も多くの才能が芽吹き、活躍することを期待するところであります。

さて、皆さまもご存じのとおり、

物価高による生活の圧迫、温暖化による気象の乱れなどが日々ニュースとなっており、私たち湧別町民の生活にも大きな影響を与えております。また、燃料の高騰や酪農業における飼料の高騰など、本町の基盤産業である一次産業への影響が依然深刻となっております。

湧別町の財政状況は町民の皆さま方のご努力により、良好に推移しておりますが、子どもからお年寄りまで安心して暮らすことができる環境の整備、地域を支える産業の振興や人材の育成・確保など多くの課題に向けて、引き続き、適切な行財政運営に努めなければなりません。

このような状況の中、町、議会、関係団体などが話し合いを重ね、手と手を取り合い、一体となって、湧別町の未来のため乗り越えなければならぬと感じております。

『皆さまに愛される湧別町』、『ふるさとが好きだと言ってもらえる湧別町』となるよう、皆さまの負託に応えるためにも議員一丸となつて、より一層努力してまいります。

結びに、本年が皆さまにとつて、実り多き年でありますよう、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで

新春のお慶びを申し上げます

湧別町議会

議長 村田 一志

副議長 脇坂 敏夫

総務厚生常任委員会委員長

高田 映二

産業文教常任委員会委員長

小形 秀和

議会運営委員会委員長

酒井 純一

議員

関野 一良

加藤 政弘

村川 勝彦

下田 英人

檜山 洋一

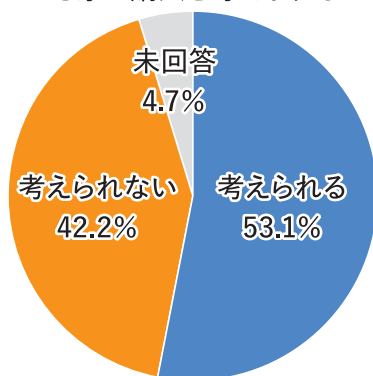
～使いみちのない空き家を持っている皆さん～

あなたの「空き家」が、誰かの「住まい」に。



あなたの持つその空き家、活用することを考えてみませんか？

空き家の購入を考えられるか



その一方で、公営住宅に入居されている方を対象としたアンケート調査によると、「空き家の購入を考えられる」という回答が半数以上を占め、空き家に対する需要が存在していることを見て取ることができます。

さらに、全空き家数の約4割となる385万戸が、賃貸や売却の予定がない「何も利用されていない空き家」であることも判明しました。

今年発表された令和5年住宅・土地統計調査によると、令和5年10月1日現在で全国の空き家数は約900万戸に上ることが明らかになりました。平成30年から51万戸増え、総住宅数に占める空き家の割合も0.2ポイント上昇して13.8%となり、過去最高を記録しています。

町では「空き家の取り壊しに対する助成」を、平成25年度から状況変化に合わせて形を変えつつ継続して実施しています。

さらに、令和5年度からは、すでにある空き家を流通させていくために、「空き家を活用するための助成」も新たに始めました。



空き家流通促進事業



これから空き家を売却や賃貸などで活用しようとする方に対して、空き家の相続登記手続きや残置物の処分にかかる費用を助成します。

▶ここがポイント

令和6年4月から義務化となった相続登記手続きを行う際の司法書士への報酬や、屋内残置物を処分するために業者へ委託した費用などが対象です。さらに、屋内の清掃費用も対象となります。

▶このような方が活用できます（例）

- ・今後、賃貸や売却などをしていきたいけど、家財道具もそのまま…
- ・建物と土地の名義が亡くなった親のままになっている… など

▶活用していただいた方の声

数年前に両親が亡くなり、私が空き家の管理をすることになったのですが、私自身も家庭があり、町内には住んでいないため、今後どう維持管理をしていくか、あるいは処分をするべきかで頭を抱えていました。

役場の担当者にこの状況を相談したところ、空き家の相続登記や屋内の家財処分に対する助成制度を紹介してもらい、それを活用することで大変助かりました。

相続登記や家財処分は順調に終わることができたものの、築50年近く経過している老朽化した住宅が売れるかどうか不安でした。

しかし、町の空き家バンクに登録したところ、幸いなことにすぐに売却することができました。「実家を手放す」という結果となり、寂しい思いもありますが、住まいを必要としている方につなげることができて、ほっとしています。

空き家を所有している方はまずは役場に相談してみることをお勧めします。



遠軽町在住 K・Tさん



空き家賃貸住宅化支援事業



町内における賃貸住宅の不足を解消するため、空き家を賃貸住宅へ転用するための改修工事費用などを助成します。

▶ここがポイント

賃貸住宅とするために取得した空き家の購入費用も対象となります。さらに、町内業者により改修工事を実施した場合、最大100万円まで助成します。

▶このような方が活用できます（例）

- ・実家を壊すのも抵抗があるし、誰かに住んでもらいたいけどリフォームしないと…
- ・会社で、空き家を活用した社員寮・賃貸住宅を整備したい… など

▶活用していただいた方の声

湧別町では、学生の通学が不便な地域があり、子育て世代の方々が学校に近い市街地の賃貸物件を探されているという話を耳にしていました。

あるとき、湧別町内の売り住宅の広告を目にし、「湧別町にはたくさんの空き家がある。これらを必要としている方々につなげられないだろうか」と考え、不動産業に乗り出すことを決意しました。

古い空き家の取得にはリスクもありますし、購入には慎重でしたが、この助成金を活用することで、妥協せず、満足のいくリフォームが可能となり、購入に踏み切ることができました。

空き家を手放したい所有者から、住まいを求めている方へ提供することができましたし、多少ですが、湧別町内の建設業者にも仕事を作ることができて、みんなが満足のいく結果になったかなと思います。



遠軽町 L社



空き家等情報バンクをご活用ください

空き家・空き地情報を町ホームページなどに掲載し、空き家を利用したい方々へ必要な情報を提供する取り組みを行うことで、空き家の利活用と移住者や定住者の増加につなげています。

売却や賃貸可能な空き家や空き地をお持ちでしたら、ぜひご活用ください。



町ホームページ
空き家情報バンク

<お問い合わせ先>企画財政課未来づくりグループ

文化センターTOM周辺の**活性化**に向けて

～地域力創造アドバイザーからの中間報告②～

先月号では、アドバイザーから提案された4つのエリアのうち、「文化センターTOM 拠点エリア」と「飲食店、宿泊施設 拠点エリア」の具体的な構想アイデアをご紹介しました。

今月号では、残りの「チューリップの湯 拠点エリア」と「百年記念公園 拠点エリア」の構想アイデアについてお伝えします。



※紹介する内容は中間報告における提案であるため、すべてを実現しようとするものではありません。

「チューリップの湯」を拠点とした エリアは…「癒し・くつろぎゾーン」

＜構想アイデア＞

- 休憩スペース
- リラクゼーションサロン

このエリアでは、温泉施設内に漫画や睡眠スペースを設けた「開放感のある休憩スペース」やマッサージなどを行う「リラクゼーションサロン」を整備することで、湯上り後にゆっくりと過ごしていただき、身体的・精神的なリフレッシュを可能とすることをテーマにしています。

また、温泉施設内のレストランや他エリアへの周遊利用を狙うため、滞在時間を長くする工夫について再考することも課題として挙げられています。

「百年記念公園」を拠点とした エリアは…「遊び・スポーツゾーン」

＜構想アイデア＞

- 子ども用アスレチック ●RVパーク
- バーベキュー場 ●スケートリンク（冬季）

このエリアでは、「認定こども園みのり」の裏にある築山を生かしたジップラインやすべり台などの「子ども用アスレチック」と、冬季には「スケートリンク」を整備することで、遊び→温泉→食事という一連の周遊利用を狙うことができます。

このほか、キャンピングカー利用者向けに、24時間利用可能なトイレや電源、ごみ処理所を兼ね備えた「RVパーク」や、手ぶらで利用可能な開放感のある「バーベキュー場」の整備など、ファミリーや学生・若者が出かけるきっかけとなるイベントや場所の創出のほか、観光客の増加を図ることをテーマとしています。

4つのエリアの他にも…「旧中湧別駅舎の活用」

旧中湧別駅舎は駅名標、時計、当時のホーム放送など、当時の雰囲気が残っています。外観や内装はできるだけそのまま「泊まれる列車」に改装することにより、“全国から鉄道ファンが訪れることも期待できる”と提案されています。

若い方々に向けて、町の取り組みを紹介しました

11月30日（土）に文化センターTOMで開催された「ゆうべつ若者大交流会（湧別町産業間ネットワーク主催）」で、刈田町長がこの取り組みを紹介しました。今後も継続して町民の皆さんへ情報を発信していきます。



上湧別地区義務教育学校（上湧別学園） の開校に向けて

上湧別地区義務教育学校（上湧別学園）の4月開校に向けた準備が着々と進んでいます。上湧別地区の小中学校のPTA、学校運営協議会委員、地域の代表の方々および校長が参加した上湧別地区義務教育学校開設準備員会での協議を経て、「学校名」、「校章」、「校歌」を決定しました。

学校名は「湧別町立上湧別学園」

上湧別地区の小中学校の児童生徒を対象に実施したアンケート調査をもとに、開設準備委員会で最終案が決定されました。そして、9月に開催された湧別町議会第3回定例会において、湧別町立学校設置条例が可決され、正式に学校設置が決定しました。

校章は光り輝くチューリップをデザイン

上湧別地区の小中学校の児童生徒からデザインを募集し、そのデザイン案をもとに本町出身のグラフィックデザイナーである鈴木美里さんに制作を依頼しました。

上湧別のシンボルである個性豊かなチューリップが集まり、光り輝いている様子がデザイン化されています。



校歌は全国から募集

全国から広く募集し、22件の応募の中から、岩見沢市出身で現在は埼玉県在住の小学校教員である松原健太さんが制作した曲を採用しました。

松原さんが湧別町を訪問した際に見た雄大な自然を思い浮かべながら制作されたもので、1年生から9年生まで幅広い学年での歌いやすさも考慮し作られた曲です。

上湧別学園校歌

作詞・作曲 松原 健太

一 オホーツクの風に つつまれて

北の大地に 希望の種をまこう

十人十色の 花が 咲きそろう

上湧別 ここは 美しい ふるさと

二 抱いた願いを 忘れずに

輝く未来へ まっすぐ歩き出そう

十人十色の 夢が 光り出す

上湧別 ここは 温かい ふるさと

三 心と心を 結びあい

変わることはない 絆を確かめあおう

十人十色の 日々よ いつまでも

上湧別 ここは 大切な ふるさと



11/9

自治会を超えて親睦を深める

上芭露老人クラブ・北町シニア会合同交流会

上芭露老人クラブ・北町シニア会の交流会が行われました。自治会を超えて互いに親睦を深めようと企画されたもので、合わせて35人が参加。

木の棒を投げ、木でできたピンがどれだけ倒れたかによって得点を重ねていくニュースポーツ「モルック」を楽しんだ後は、机を囲んで昼食を楽しみました。

また、食後はみんなで「四季の唄」や「りんごの唄」などを歌い、普段顔を合わせない人とも、和気あいあいと親睦を深められた様子でした。

北町会館



ニュースポーツ「モルック」などで親睦を深めました

11/9

人物から湧別の歴史を見る

第14回ふるさと講座

町民有志で構成するふるさとから学ぶ会（代表 梅田唯士さん）と教育委員会の共催によるふるさと講座が開催されました。今回は「人物から湧別の歴史を見る～博物館収蔵資料を中心に～」と題して、ふるさと館JRY中島一之館長が講師を務めました。

明治期に活躍した湧別の人物を中心に、その人生や背景を収蔵資料や写真を使って詳しく解説しました。

ふるさと講座は約12年間にわたり開催されてきましたが、ふるさとから学ぶ会メンバーの高齢化により今回が最終回となり、惜しまれながら閉会しました。

ふるさと館JRY



全14回行われたふるさと講座は今回が最終回

11/10

かけがえのない仲間とともに

上湧別中学校・ゆうべつ学園合同バンド定期演奏会

合同バンドは北見地区吹奏楽コンクールで4年連続金賞を受賞し、地区代表として全道大会出場を果たすなど活躍しています。

華やかなマーチで開幕した演奏会では、管楽器と打楽器のアンサンブルやテレビドラマの主題曲など、美しい演奏を披露。工夫が満載で多彩な演奏で楽しませるステージが繰り広げられました。会場には多くの観客が詰めかけ、曲に合わせた手拍子などで大いに盛り上がり、アンコール後には観客から惜しめない拍手が贈られました。

文化センターさざ波



5年前から「オール湧別」として合同チームを編成

11/10

熱戦が繰り広げられる

子ども会交流ミニバレーボール大会

町青少年指導センター（平野寿雄所長）主催の子ども会交流ミニバレーボール大会が開催されました。

今大会には各子ども会から小学生8チーム、中学生3チームが参加。どの組も接戦となる白熱した試合が繰り広げられました。

勝ったチームも、惜しくも敗れたチームも笑顔で心地よい汗を流し、子ども会同士の交流を深めました。

中湧別総合体育館



小学生は南町子ども会A、中学生はチーム大和が優勝



ムックルという楽器の演奏も親子で披露

11/
13

もっと知りたいアイヌの話

今年度の湧別町民大学が終了

旭川市にある川村カ子トアイヌ記念館館長の川村晴道さんと、副館長である母の川村久恵さんを講師に迎え、「もっと知りたいアイヌの話～上川アイヌの若き館長とお母さん～」と題し、今年最後となる5回目の町民大学が開催されました。

講演では、アイヌの歴史や文化が紹介され、「自然との共生を大切にし、旬の時期にしか狩りや植物採取をしないというアイヌの生活様式は、現在のSDGsの理念とも重なる」と話しました。

上湧別庁舎応接室



駐車場のライン引きをしていただきました

11/
15

感謝状を贈呈

不二建設が地域貢献活動

文化センターさざ波の駐車場のライン引きをしていただいた不二建設㈱（滝川市）に因副町長から感謝状が贈呈されました。

これは、同社の地域貢献活動として行っていたもので、センター利用者の安全確保につながりました。

因副町長は「文化センターの環境整備にご尽力いただき、ありがとうございます」とお礼を述べました。

宝珠寺（北兵村三区）



子ども向けのイベントもあり多数の親子連れが訪れました

11/
17

お寺de市場

宝珠寺で「てらのいち」

北兵村三区の宝珠寺の本堂にて、実行委員会（会長 米本志真さん）主催の「てらのいち」が開催されました。

服や雑貨のフリーマーケットやお花の販売、お菓子やキッチンカーでのカレー販売のほか、お寺ならではの坊さんのおはなし会も行われました。キッズ向けのヨガやマッサージなどの体験メニューなども行われ、町内外から多数の親子連れが訪れました。

今回が初開催となった「てらのいち」は、好評につき来春に第2回のイベントを開催する予定です。

湧別オホーツク園リラの杜



介護に関する専門的な知識を深める貴重な体験ができました

11/
19

職業選択の1つに

オホーツク園で介護体験

「将来の職業選択の1つになれば」と、実際の職員の動きを体験する「介護の日」が開催され、湧別高校生など7人が参加しました。

椅子からベッドへ移動させる「移乗介助」体験では、体の仕組みを理解して適切に補助することで、余計な力を加えずに介助できることを学びました。また、移乗サポートロボットや、睡眠を管理するセンサーなど、機械を用いることで介護する側の負担を軽減する仕組みも体験しました。



11/
22

名曲を歌い継ぐ

三浦祐太郎LIVE2024

町民団体「良いもの見よう聞こう会」（川村寿光会長）が主催する芸術文化公演「三浦祐太郎LIVE2024」が開催されました。三浦祐太郎さんは、俳優である三浦友和さんを父に、歌手の山口百恵さんを母に持つミュージシャンで、バンド活動を経て現在はシンガーソングライターとして全国でライブを行っています。

「いい日旅立ち」や「秋桜」など母である山口百恵さんの楽曲も数多く演奏され、伸びやかな歌声で名曲を歌い継ぐ姿に、満員の会場は盛り上がりしました。

文化センターさざ波



母である山口百恵さんの楽曲も数多く演奏

11/
23

手遊びや楽器体験でふれあい

湧別高校吹奏楽局がこども向けコンサート

初の試みとなったこのコンサートには、生徒の保護者だけでなく、親子連れも多数参加しました。

会場では、幼児向けの人気テレビ番組の曲や手遊び歌が演奏され、小さな子どもたちは自由に体を動かして踊ったり、笑顔を見せながら楽しんでいました。

その他にも、子どもたちが鉄琴やドラム、サクソなど自由に触れ、音を出すことができる体験の時間もあり、親子の絆を深め、音楽に対する興味や親しみを持つきっかけとなる楽しい時間を過ごしました。

文化センターTOM



子どもたちは自由に体を動かし楽しんでいました

11/
24

ふるさとの話題で交流を深める

東京湧別会総会

湧別町出身者の親睦団体「東京湧別会」（後藤義英会長）の第15回総会が開催されました。

後藤会長より湧別町産のホタテなど水産物のPRや江戸川区との地域交流計画の話がありました。刈田町長は町政報告をするとともに市町村別の平均所得順位に言及し「湧別町は全国1,741市町村のうち42番目、道内では8番目になっている」と述べました。

懇親会では、ふるさと湧別の話題で交流を深めるとともに、歌謡ショーやビンゴ大会で盛り上がりしました。

東京都内



関東圏に住む70人が出席

11/
29

「変化・気づき」を支援につなげる

支えあいサポーター養成講座

高齢者を支える地域づくりへの理解を深める「支えあいサポーター養成講座」が開催されました。

地域福祉に関する講義では、町社会福祉協議会の海谷政貴さんが講師となり、顔見知りという立場だからこそできる生活支援が大切であること、生活の延長上にある「しながらの活動」で支え合うことなど、地域全体の見守りが重要であると話しました。

認知症サポーター養成講座では、認知症の原因や、その症状と周囲の対応や支援などについて解説されました。

文化センターさざ波



湧別町生活支援体制整備事業として実施



文化センターTOM



大学と連携しさまざまな可能性を探っていくことを確認

文化センターTOM



さまざまな職種の若者約90人が参加

中湧別総合体育館



各自治会から6チーム、約90人の選手が参加

文化センターTOM



全道各地から過去最大の62店が集結

11/
29

新たな循環型ビジネスを探る

小樽商科大学産学官ビジネスセミナーin湧別町

このセミナーは12月13日の連携協定に先駆け、小樽商科大学が湧別町におけるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の議論を深めるため開催されたもので、牛の尿から消臭液を製造・販売する循環型ビジネスの事例や、未活用のコンブを乳牛の飼料添加物にする取り組みが紹介されました。パネルディスカッションでは、来年稼働予定のバイオガスパラントで副産物として生じる処理水を活用する新たな循環型ビジネスについて議論が交わされました。

11/
30

異業種間で新たなつながりを

ゆうべつ若者大交流会

職域を超えた若い世代のネットワークづくりを目的に、町内外の産業団体と町で構成する「湧別町産業間ネットワーク」の主催で行われたイベントで、18歳から39歳までの農林漁業者や技能実習生、町内のお店や会社に勤めている方などが参加しました。

ビンゴゲームでは、初めて顔を合わせる人も多い中、ニックネームで呼び合ったり、お互いのカードを確認し合ったりしながら、職種だけでなく、国籍を超えた交流も多くみられ、新たな出会いを楽しめた様子でした。

12/
1

地域の仲間と力を合わせて

町民300歳バレーボール大会

出場選手の年齢の合計が300歳以上になるよう構成されたメンバーで、この大会に向け練習を重ねた各チームは抜群の団結力を見せ、好プレーや珍プレーに一喜一憂するなどとても盛り上がり、大きな歓声が上がりました。

見事に優勝した「錦チーム」、残念ながら負けてしまった各チーム、同じ自治会でも普段はなかなか顔を合わせることもない方々も、大会終了後の懇親会を含め、これまで以上に自治会の結束が深まる1日となりました。

12/
1

冬のあったかマルシェ

ふゆまる。に1,300人が来場

「ふゆまる。実行委員会（代表 細川佐和さん）」が主催するこのイベントには、アクセサリーやハンドメイド服などのショップ、占いやマッサージ、アロマキャンドル作成の体験コーナー、カレーやパン、ラーメン、ワッフルなどを提供するショップやキッチンカーも登場しました。子どもたちも楽しめるようにとバルーンアートショーも行われました。

来場者は、「たくさんのお店が出店し、食べ物も充実していて一日中楽しめる」と話していました。



イベント・行事スケジュール

12月25日から2月20日までに行われるイベントや行事をお知らせします。

12月25日(水)	スマホ個別相談会 (9:00 芭露地区会館)
1月 5日(日)	湧別町消防団出初式 (10:00 文化センターさざ波)
7日(火)	ジュニアスケート教室 (13:30 芭露スケートリンク) ～9日
11日(土)	百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
12日(日)	令和7年「20歳の集い」 (13:30 文化センターさざ波)
16日(木)	チューリップ生きがい大学「地域講演会(シブノツナイ堅穴住居跡)」 (10:00 文化センターさざ波)
18日(土)	わくわく体験塾「氷下釣り」 (10:00 芭露川) 百人一首教室 (13:00 上湧別農村環境改善センター)
19日(日)	新春交歓カルタ大会 (9:00 上湧別農村環境改善センター)
25日(土)	チャレンジスポーツスクール「スケート教室・氷上ホッケー」 (10:00 芭露スケートリンク)
26日(日)	クロスカントリースキー教室 (10:00 五鹿山スキー場)
2月 1日(土)	町民スケート大会 (9:00 芭露スケートリンク)
2日(日)	家庭教育研修会 (10:00 地場産品加工センター)
8日(土)	わくわく体験塾「スノーハイク」 (9:00 登栄床)
15日(土)	チャレンジスポーツスクール「HIIT THE BEAT」 (10:00 湧別総合体育館) こどもアート体験事業「ダンスワークショップ」 (13:30 文化センターさざ波) ～16日



レバンガ北海道を応援する、看板広告&バスラッピング広告が完成！

湧別町とレバンガ北海道は昨年10月、地域活性化、学校教育、スポーツ振興と健康づくりの分野で、お互いに協力するための包括連携協定を締結しました。

今回、レバンガ北海道の応援として、かみゆうべつ温泉チューリップの湯駐車場に看板広告、北海道北見バスにラッピング広告を作成しました。

広告は、本町出身の関野剛平選手を全面に打ち出した力強いビジュアルになっています。

この広告を通じて、町全体でチームを応援するムードをさらに高め、チームの活躍による地域の活性化、そして町民同士の絆を深めることを目指します。

皆さんもぜひこの広告を見て、レバンガ北海道へ熱いエールを送りましょう。



質の高い

信頼される行政の実現へ

令和6年度行政評価の結果

行政評価の取り組み

町では、効率的な行財政の運営を目指すため、行政評価を行っています。

行政評価とは、「計画」「執行」「点検・評価」「改善」のサイクルを指しており、事務事業の必要性や有効性などの視点から点検・評価を行い、その結果を次の事務事業の実施に反映させます。

行政評価の方法

行政評価は次の順序・評価者によって行われ、事務事業の今後の方向性について判定します。

行政評価の順序・評価者

1次評価	担当課による自己評価
2次評価	副町長・教育長など
外部評価	行政改革推進委員会（町民10人）
3次評価	町長・副町長・教育長など
総合評価	町長・副町長・教育長・全課長職

総合評価で「拡充」、「改善」の評価を受けた事業

判定区分	事務事業の名称
<拡充> 事業費の規模を拡大・充実させることが適当と判断される事務事業	地域おこし協力隊事業
<改善> 対象や手段、経費などの見直しにより、成果が向上すると判断される事務事業	一般廃棄物収集事業 資源ごみリサイクル事業 起業支援事業 小規模事業者施設等整備事業 ふるさと納税推進事業 新規就業等移住支援事業 観光協会補助事業 ワーケーション利用促進事業 湧別高等学校魅力化推進事業 スポーツ・文化遠征費補助事業

行政評価の結果

本年度の行政評価は、137の事務事業を対象に評価し、総合評価で「拡充」、「改善」の評価を受けた、または意見が付された事務事業は、来年度の事業実施に向けて、改善策の検討と取り組みを進めます。

外部評価について

外部評価は、10人の行政改革推進委員によって、行政職員とは違った角度から確認・評価を行い、必要に応じて委員会としての意見を付しています。

外部評価での事務事業に対する主な意見

事務事業の名称	判定区分	意見の内容
ワーケーション利用促進事業	現状維持	関係人口を増加させるため、制度の内容の更なる充実を検討いただきたい。
起業支援事業	現状維持	法人存続のための事業承継も、産業振興や雇用創出に寄与すると考えられるため、商店街存続のためにも助成の対象となるように見直しを検討いただきたい。

行政評価の内容は、役場庁舎および図書館で閲覧することができます。町ホームページでも公開しています。

【お問い合わせ先】

企画財政課企画財政グループ
Tel 2・5862



町ホームページ

広告

お電話1本、24時間、365日お迎えに伺います



株式会社

えんがる葬祭

☎0158-42-9898

遠軽町学田2丁目6-1 FAX 0158-42-9933

24時間
受付

式場収容数

・大ホール400名
・中ホール200名
・小ホール100名
・法事ホール

税

催湧別
進懇話会
品展

書道・標語

入選作品

湧別町租税教育推進懇話会では、租税教育を推進するため、小学校・義務教育学校前期課程の児童を対象に書道を通して「税」の言葉を学び、中学校・義務教育学校後期課程の生徒には標語を通して「税」の意識や親しみをもってもらおうと、毎年、書道・標語を出品していただいています。

今年は、各学校の3年生以上の児童から203点、中学校3年生・義務教育学校9年生の生徒から47点もの作品が寄せられ、町内小中学校・義務教育学校の校長先生による審査を実施しました。多くの力作の中から、最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞が次のとおり決まりましたのでお知らせします。

入賞された児童生徒の皆さん、おめでとうございます。

※敬称略・順不同

【書道 3・4年生の部】

■最優秀賞

西倉 ひかり (ゆうべつ3年)



■金賞

岩瀬 唯華 (中湧別小3年)
桶矢 ユウリ (上湧別小3年)

■銀賞

横山 七菜心 (富美小3年)
澤井 心華 (ゆうべつ4年)
辻 杏里 (中湧別小4年)
上原 由莉子 (芭露4年)

■銅賞

吉田 早依夏 (ゆうべつ3年)
鹿野 七聖 (中湧別小3年)
加茂 結衣 (開盛小3年)
船橋 李奈 (芭露3年)
奥田 健心 (ゆうべつ4年)
岡和 芽依 (上湧別小4年)
加茂 巧海 (開盛小4年)
越智 天愛 (芭露4年)

【書道 5・6年生の部】

■最優秀賞

松橋 遥磨 (開盛小6年)



■金賞

長岡 桜弥 (芭露5年)
鈴木 咲妃 (ゆうべつ6年)

■銀賞

古谷 悠喜 (ゆうべつ5年)
本間 湊大 (ゆうべつ5年)
岩瀬 歩華 (中湧別小5年)
斉藤 奈々美 (芭露5年)

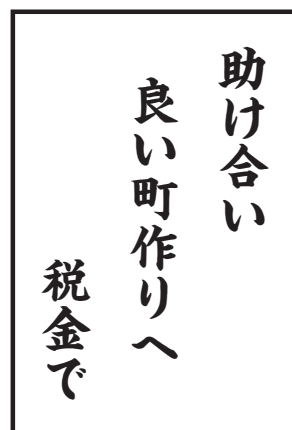
■銅賞

青山 凜 (ゆうべつ5年)
中川 紗羽 (中湧別小5年)
伊藤 晴咲 (上湧別小5年)
青柳 葵 (富美小5年)
秋葉 陽向 (開盛小5年)
工藤 颯真 (ゆうべつ6年)
高宮 貴龍 (中湧別小6年)
日塔 結姫乃 (上湧別小6年)
越智 莉愛渚 (芭露6年)

【標語 中学3年・義務教育学校9年生の部】

■最優秀賞

久保 拓夢 (芭露)



■金賞

本間 莉央 (ゆうべつ)
長谷川 颯人 (上湧別中)

■銀賞

小形 ひなの (ゆうべつ)
戸松 優人 (ゆうべつ)
千葉 心陽 (上湧別中)
山根 蘭丸 (上湧別中)

■銅賞

工藤 結菜 (ゆうべつ)
小場 ななみ (ゆうべつ)
福嶋 寛大 (ゆうべつ)
山口 優雅 (ゆうべつ)
山下 結愛 (ゆうべつ)
加茂 奏翔 (上湧別中)
長畑 咲妃 (上湧別中)
上田 ひまり (芭露)

湧別町租税教育推進懇話会は、紋別税務署・紋別道税事務所・町の税務関係者や教育委員会・学校・PTAの町内の教育関係者、商工会・青色申告会・法人会の町の民間団体関係者で構成された団体です。

自衛官候補生

ここにしかない成長。ここにしかない経験。

募集対象 18歳～32歳以下の方



学科 **13~18**
MON SAT

面接・身体検査 **19** or **20**
SUN MON

締切 **1/9** THU



学科 **1/27~2/1**
MON SAT

面接・身体検査 **2** or **3**
SUN MON

締切 **1/23** THU

※学科試験はWEBで行います。受験要領については下記までお問合せください。

遠軽町岩見通南3丁目 ☎0158・42・6616
自衛隊旭川地方協力本部 遠軽地域事務所

11月21日（木）に第6回湧別町議会臨時会が開会され、山本栄子前副議長の辞職にともない空席となっていた副議長の選挙を行い、脇坂敏夫議員が新たな副議長に選任されました。



新たに副議長が
選任されました

◆議会運営委員会

委員長 酒井 純一議員
副委員長 小形 秀和議員
委員 関野 一良議員
(補充選任)

◆産業文教常任委員会

副委員長 関野 一良議員

任期は令和7年11月14日までです。
また、副議長の選任にともない各委員会の役員も次のとおり改選となりました。



「緑の募金」運動

ご協力ありがとうございました

湧別町げんきの森活動委員会が実施していました「緑の募金」運動は、湧別漁業協同組合様、遠軽地区森林組合様のほか中湧別小学校、上湧別小学校、開盛小学校、富美小学校、芭露学園、ゆうべつ学園、上湧別中学校にご協力いただき、多くの皆さまからの温かいお気持ちとともに、総額64,933円の募金をお寄せいただきました。

※「緑の募金」は、昭和25年から続いている運動で、花壇整備や植樹活動、森林学習などの緑化運動に活用されています。



広告

相続相談

相続登記義務化、預貯金解約、相続人調査遺言、相続対策など、相続相談お寄せください

寺西行政書士事務所

Tel 090-6211-8230

湧別町北兵村一区101番地11 旧でらにし商店



大晦日 から
元日 朝 まで
年越営業

中湧別町 リゾート名花館 1階
ごはんとお酒
たか月 ☎ 01586
8-7102

営業日・営業時間は、インスタでご確認ください。 公式Instagram

年末年始の役場などの業務のお知らせ

○通常業務 ×休み・運休日

施 設 名 な ど	令和6年12月				令和7年1月					
	28日 (土)	29日 (日)	30日 (月)	31日 (火)	1日 (水)	2日 (木)	3日 (金)	4日 (土)	5日 (日)	6日 (月)
役場（上湧別庁舎・湧別庁舎）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
中湧別出張所	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
芭露出張所	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
認定こども園・保育所 児童・子育て支援センター	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
湧別図書館・中湧別図書館	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×
ごみ収集	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○
えんがるクリーンセンター えんがるリサイクルセンター	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○
町営バス	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
文化センターTOM	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
文化センターさざ波	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
ふるさと館JRY	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×
社会福祉会館	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
湧別総合体育館	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×
中湧別総合体育館	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
上湧別農村環境改善センター	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
芭露畜産研修センター （ファミリースポーツセンター）	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○
湧別屋内ゲートボール場	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×
中湧別ゲートボール場	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○

※役場（上湧別庁舎・湧別庁舎）には、12月28日から1月5日まで職員がおりませんので、お急ぎの御用の方は下記までご連絡をお願いします。

※12月28日から1月5日までは、上芭露・計呂地郵便局での住民票などの発行業務は行いません。

お急ぎの御用の場合の連絡先

死亡届などの戸籍に関すること	5-2919（住民税務課長 細川） ※12月31日から1月3日まで。それ以外の期間は中湧別出張所（2-2218）にご連絡ください。
除 雪 に 関 す る こ と	2-3369（建設課長 北林）
そ の 他 お 急 ぎ の 御 用 の 方	5-3830（総務課長 坂本）

「広報ゆうべつ」アンケート

「広報ゆうべつ」に関するご意見を募集しています。

広報の改善点や掲載希望の内容など、さまざまなご意見をお待ちしております。

いただいたご意見は今後の広報活動の参考とします。



回答フォーム

「広報ゆうべつ」に 広告を載せてみませんか？

広告の種類	規 格	掲載料（1回）
半 サイズ	縦 50mm × 横 85mm	5,000円
1 段サイズ	縦 50mm × 横175mm	10,000円
2 段サイズ	縦100mm × 横175mm	20,000円

※複数回のお申し込みには割引制度があります。

※広告掲載のお申し込みは、広告原稿を添えて掲載希望月の前月15日までに総務課広報・自治会グループ（TEL2-2112）までお申し込みください。

※詳しくは町ホームページをご覧ください。



町ホームページ

令和7年の意気込み

新年あけましておめでとうございます。湧別高校魅力化コーディネーターの田中那苗です。

令和6年は協力隊として湧別町に移住し、初めて社会人として社会に出て仕事をするなど、自分を取り巻く環境が大きく変わった年になりました。

令和7年は湧別町での暮らしも仕事もこれまで以上に楽しみながら過ごしていきたいと思っています。



流水留学と言えば湧高!



昨年、入学生徒を全国から募集し、湧別高校に3年間留学する国内進学プログラムを「流水留学」と名付けました。

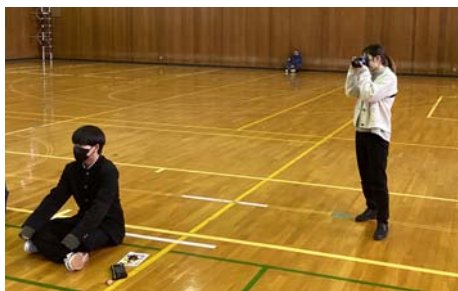
流水がオホーツク海に一定期間留まることから思い付き名付けたもので、語呂も良いので説明会に参加する中学生たちにも覚えてもらいやすく好評です。

「流水留学といえば、湧別高校だね」となるくらい浸透するように、さらにPRしていこうと思います。

町内業者と協力した、形に残るPR方法

町内のデザイナー、印刷会社、写真店の皆さんに協力していただき、湧別高校の熱量が伝わり、今まで以上に湧別高校のことを知ってもらえるような学校案内パンフレットの作成を目指しています。

どんなパンフレットになるか、来年の完成を楽しみにしててください。



町内・道内からの入学者も増やしたい

魅力化コーディネーターとして、湧高の全国募集を担当しているため、道外の入学者ばかりを募集していると思われがちですが、高校存続には地域に愛される学校づくりが必要不可欠です。そのため、町内や道内からの入学者が増えるように、外だけでなく地元の方々にも湧別高校の魅力が伝わるようなPR活動を心がけています。

活動も2年目に入ってくるので、より質の高い写真やチラシを作成できるように、カメラワークやデザインの勉強に励みたいと思います。

広告

カーライフプラン

金利割引実施中

所定の審査がございます。商品内容等、詳しくは当金庫ホームページをご覧ください。窓口へお問い合わせください。

ふれあい さわやか
遠軽信用金庫

温まり感が違います!!

1月の薬草湯は
スギナ・イチジク・ローズマリー・
ゼラニウム配合の薬草湯です

寒い季節は、温熱効果で筋肉の緊張をほぐして血液の循環を促進!

木曜日は
薬草湯の日

かみゆうべつ温泉 **チューリップの湯**

湧別町中湧別中町 TEL(01586)④-1126 沢口産業株式会社

ヒートショックに要注意

ヒートショックとは

暖かい部屋から急に冷え込んだ場所に移動するなど、温度の急激な変化により血圧が大きく変動し、体に負担がかかることにより、失神、心筋梗塞、不整脈、脳梗塞などを引き起こす現象を指します。

特に冬場に多く、冷え込んだトイレや浴室で起こりやすいと言われています。ヒートショックが原因で命を落とすケースもあるため、十分な注意が必要です。

ヒートショックを予防するためのポイント

①入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく

暖房設備を使用して脱衣所や浴室を暖め、寒暖差が少なくなるようにしましょう。暖房設備がない場合でも、お湯が沸いたときにかき混ぜて蒸気をたてる、お湯を入れるときにシャワーから給湯するなどして浴室を暖めましょう。

②湯温と時間に気をつける

熱いお湯に長時間つかることによって体温が上昇し、意識がもうろうとして浴槽から出られなくなることがあります。湯温は41℃以下、お湯につかる時間は10分までを目安にしましょう。

③浴槽から急に立ち上がらない

浴槽から急に立ち上がると、めまいや立ちくらみを起こし浴槽内で転倒し、溺れてしまう危険性があります。浴槽から出るときは手すりや浴槽のへりをつかみゆっくり立ち上がりましょう。

④入浴前に家族に声をかける

何か異変があったときに早く気づいてもらえるように、家族に一声かけてから入浴するようにしましょう。家族の方は入浴中の方に注意を払い、時々声をかけ物音がしないなど異変に気づいたときはためらわず声をかけましょう。

⑤飲食後や飲酒後の入浴は避ける

食後や飲酒後は血圧が下がることがあります。飲食後は1時間以上あけて、飲酒後はアルコールが抜けてから入浴するようにしましょう。また、睡眠薬や精神安定剤などを服用した後の入浴も避けましょう。

～ヘルシースプーン会の缶詰を使った簡単レシピ～

野菜も食べられるおかず

トマト缶キーマカレー



1人分 *エネルギー：272kcal *塩分：2.7g
ごはんのカロリーは含みません

材料（4人分）

玉ねぎ	… 1個
しいたけ	… 4本
にんにく	… ひとかけ
オリーブオイル	… 大さじ1杯
鶏ひき肉	… 200g
カットトマト缶	… 1缶
カレールー	… 1/2箱
オイスターソース	… 大さじ1杯
砂糖	… 小さじ2杯

野菜の水分だけで煮込みます。
ひき肉の代わりに大豆水煮缶でも代用できます。

作り方

- ①切る
・玉ねぎ、しいたけ、にんにくはみじん切りにします。
- ②炒める
・鍋にオリーブオイルを熱してにんにくを炒め、香りが出てきたら玉ねぎを加えます。
・玉ねぎがしんなりしたら鶏ひき肉、しいたけを加え、ひき肉に火が通るまで炒めます。
- ③煮る
・トマトをつぶしながら鍋に加えて、10分ほど煮込みます。
- ④味付け
・カレールー、オイスターソース、砂糖を鍋に加えてよく混ぜます。



ヘルシースプーン会事務局：健康こども課
その他のレシピはこちら



輝け

ゆうべつ人

思いのままに楽しく描く

アトリエ・ワタナベ



渡辺 ゆかり



文化センターさざ波ギャラリーで行われた「2024年作品展」

日常に絵を描く機会を。思いのままに、自由に楽しく。川西のアトリエに、豊かな心と笑顔が集まる。

2011年から紋別市で絵の教室をしていた渡辺さんは、2年前に川西に移住。家を探す際、川西の自然の美しさに感動したという。誰に言われるでもなく、幼いころからずっと絵を描いてきた渡辺さん。大学で美術を学び、絵の教室を開いた。現在は紋別のころから通っている生徒に加え、湧別町民も徐々に増えている。

動物や植物、風景などの題材を、油絵や水彩画、鉛筆画などさまざまな技法を用いて描く。アトリエ・ワタナベでは、自由に楽しく描くことを第一に、その中で画力を高めていくことを目指している。それぞれの感性で描かれた作品は個性にあふれ、題材は同じでもまったく違う作品になるのが面白い。

心の安らぎにも

色には、癒しの効果がある。カラーセラピーと呼ばれ、言葉では表しきれない心の世界を表現することで自己理解を深める心理療法だ。上手に描こうとしすぎず、形の無いものを取りとめなく描くだけでも効果的。色に触れる事で癒しになる。

機会があれば、町民向けのイベントをやってみたいと語る渡辺さん。「今まで絵に関わったことがない人にも、絵を描くきっかけを作れたらうれしい。」と話す。



【アトリエ・ワタナベ】

絵の教室だけでなく、ものづくり教室、書道教室、学習室も行っています。

Tel 01586-817748



詳細はホームページへ



生徒の作品「自分の星座」

町の動き

11.21~12.10



人口と世帯(12.15)

人口：(男) 3,785人(-6)
(女) 4,128人(+5)
計 7,913人(-1)
世帯数： 4,067戸(-2)
()は前月対比



まちへ善意をありがとう

- ・公衆用道路用地として
(株)ディリーファーストゆうべつ様
越智 宗晴さん(芭露)
田宮 保子さん(神奈川県)
- ・企業版ふるさと納税
(株)ゼロアクセル様



お誕生おめでとう

佐藤 来那ちゃん (女)
(凌也・奈々さん 中湧別南町)



ご結婚おめでとう

結婚された方はおりませんでした



はい元気です!!

1月生まれ(1歳)

令和6年生まれの1歳になったお子さんを対象に掲載しています。
(写真：保護者提供)



伊藤 柊佳ちゃん
令和6年1月1日生まれ
「お姉ちゃんと遊ぶことが大好き！」
颯太・未来



高橋 優愛ちゃん
令和6年1月5日生まれ
「ねえねとにいがだいすき♡」
雄貴・瑞穂



松浦 飛勇ちゃん
令和6年1月9日生まれ
「いつもわんぱく！タオルがオレの相棒だぜ！」
亮太・由美子



工藤 悠莉ちゃん
令和6年1月16日生まれ
「うちの宝娘♡生まれてきてくれてありがとう」
嘉信・愛絵



山下 暖ちゃん
令和6年1月23日生まれ
「いたずら大好きにこにこ笑顔で元気いっぱい」
裕太・果林

開盛小学校閉校記念式典・ありがとうの会

開盛小学校閉校式典

11月23日（土）に開催された記念式典では、来年3月で112年の歴史に幕を閉じる開盛小学校の開校までの道のりを児童がスライドショーで紹介。その後在校生らの「開盛小の思い出」を一人ひとり発表すると、可愛らしい思い出の数々に、会場は笑顔に包まれました。

式典の後に行われたありがとうの会では、歴代教員や卒業生がそれぞれ学校の思い出を語り合ったり、思い出の詰まった開盛小学校を見て回ったりするなど、閉校を惜しむ時間となりました。

この広報紙は町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色を基調としています。